

JEITA
ソリューションサービス事業委員会
平成15年度活動状況

2003年10月9日

社団法人 電子情報技術産業協会
ソリューションサービス事業委員会
副委員長 杉浦 充

ソリューションサービスビジネスで 業界として解決すべきこと

1 サービスの定量化・可視化

2 新規ビジネスモデルの検証と定着化
オープンソースソフトウェア 等

3 対価の人月依存から成果ベースへの脱皮

平成15年度の活動

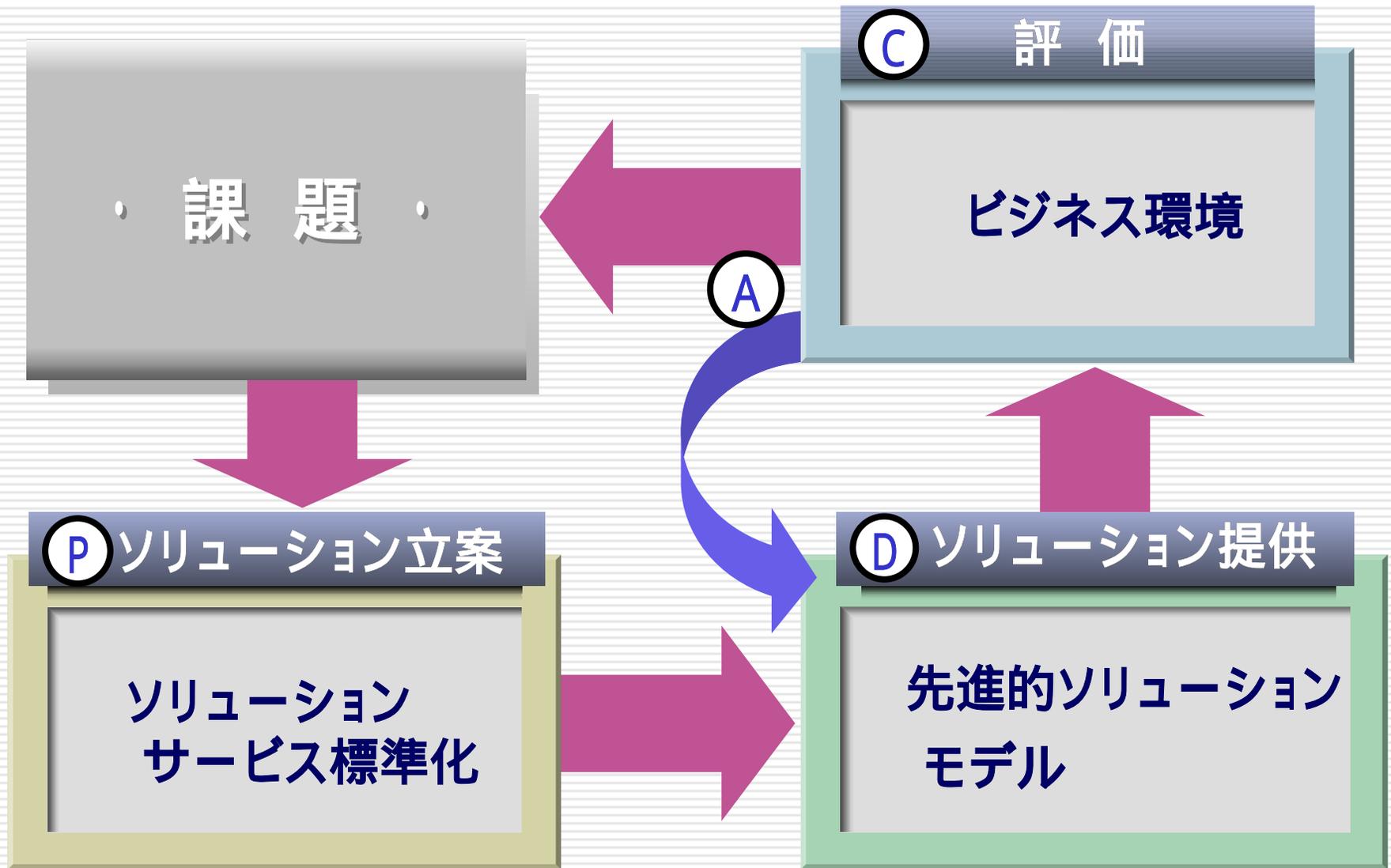
下記の3つの専門委員会を設置し活動

1 ビジネス環境専門委員会

2 先進的ソリューションモデル専門委員会

3 ソリューションサービス標準化専門委員会

各専門委員会の位置付け



ビジネス環境専門委員会

計画内容

一昨年度実施したSLAの検討、前年度実施したITILに関する調査を踏まえ、以下を実施

民間サイドとしてのSLAガイドラインの作成

ITILについてのユーザ側視点からの適用事例の調査と、JEITAとしての整理、提言

今年度活動については、ASPIC JAPAN、itSMF JAPAN、iDCイニシアティブとの協調・協力により検討

Linuxなどのオープンソースソフトウェアを活用したビジネスモデルについての検討

- ・オープンソースソフトウェアの実施導入事例調査
(成功例と失敗例)

- ・オープンソースソフトウェアに対するユーザ意識調査

先進的ソリューションキーワードの分析による、今後の新規ソリューションビジネスモデルの将来展望の検討

ソリューションサービス標準化専門委員会

計画内容

前年度のソリューション(コンサルティング)の品質要素や顧客満足度の検討を踏まえ、以下を実施

ソリューション(特にコンサルティングなどの上流工程)に対するユーザ評価の実態調査

上記に基づく「ソリューションの価値」を評価するための基準、項目の検討